



ときめけ！ 有年っ子

赤穂市立有年小学校
赤穂市西有年2853番地
TEL 0791-49-2081
発行者 西村 博子

新学期スタート！実り多き2学期に！

暑く、長かった夏休みが終わり、2学期が始まりました。

始業式で全校児童の顔を見ると、どの子も生き生きとしていて、夏休みが充実していたことがうかがえました。夏休みにがんばったこと、挑戦したこと、続けたことなど、それぞれの体験を2学期の学校生活にも活かしてほしいと思います。

この夏休み中、大きなけがや事故の連絡もなく、子ども達が元気に過ごせてたことをうれしく思います。ご家庭、地域で子ども達を見守っていただき、ありがとうございました。

2学期は、さまざまな学校行事が予定されています。

毎日の生活と行事への取組を子ども達の成長のチャンスと捉えて、一人一人に寄り添い、「ほがらか・はつらつ・すこやか」な有年っ子の育成をめざしていききたいと思います。今学期も、学校教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



ふれあい奉仕作業ありがとうございました（8月23日（土））

8月23日（土）のふれあい奉仕作業に多数ご参加いただき、ありがとうございました。

普段、教職員や児童だけでは手が行き届かない部分をきれいにしていただき、気持ちよく2学期を迎えることができました。暑い中でしたが、「やり残しのないようにやっつくよ」「まだすることありますか」と率先して動いていただき、感謝しております。



2学期前アンケート結果と9月の生活目標

8月23日（土）の登校日に、2学期開始前の児童アンケートをとりました。その結果を見てみると、どの児童も2学期において、大きな不安なく、やる気と楽しさをもっていることが分かりました。児童の些細な変化を見逃さず、どの児童にも実り多き2学期となるように、しっかりと支援していききたいと思います。

今月の生活目標は、『あいさつは あかるくげんきな「4」のこえ』です。家庭や地域も気持ちのあいさつが自分からできるように取り組んでいきますので、みなさまからの温かいお声かけをよろしくお願いいたします。

おはようございます!!



9月1日は防災の日 ～いざという時のために！備えていますか？～

1923（大正12）年9月1日に発生した関東大震災に由来し、毎年9月1日に「防災の日」が設けられており、防災の日を含む1週間（8月30日～9月5日）は「防災週間」とされています。

島国である日本は、最近の地震が頻繁に起きており、近い未来に起きるといわれている南海トラフ地震に対しても、これまで以上に関心が高まっていると思います。地震だけでなく、集中豪雨による被害や台風、竜巻、山火事など、自然災害は、いつ、どこで、どのくらいの規模で、どれくらいの期間起きるか分かりません。それだけに、普段からの備えが大切になります。「防災の日」を機会に、普段からの備えについて考えてみてください。

【何をすればいいの？】

「防災の日」は、台風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波等の災害についての認識や理解を深めるとともに、それらの災害に対する心構えと備えをするための日です。

災害が起こったときにどのように行動するのか話し合ったり、自分の家や職場に災害備蓄品の用意や保存期限のチェックや見直しをしたりする日でもあります。

【災害が起こったらどこに避難するの？】

近くの避難所を確認しましょう。いざという時、頭が混乱して冷静な判断ができにくくなる状況も考えられます。普段から避難所の場所やハザードマップを確認しておきましょう。

【どんな災害備蓄品（防災グッズ）が必要なの？】

下のイラストは一例です。この他にも、新聞紙、レジャーシート、小型ガスコンロ、紙皿・紙コップ・割り箸、手指消毒液、靴など、必要だと思うものを準備し、すぐに持ち出せる場所に保管しておきましょう。



<もしもコラム>

南海トラフ地震で、マグニチュード9クラスの巨大地震が発生した場合、赤穂市における最大震度は「6弱」、最大津波高は満潮時で「3・3メートル」と推計されています。